



令和2年11月27日
国立大学法人 千葉大学
公益財団法人 千葉県文化振興財団

狂言で今日を元気に！地域とともに創り上げた創作狂言上演

- “ウィズコロナ時代”ならではの演出で再演する「里見八犬伝 其ノ零」 -

令和2年12月5日(土)に、千葉県文化会館大ホールにて狂言師と千葉大学の学生らとともに創り上げた創作狂言「里見八犬伝 其ノ零 再演(エピソードゼロ ニューバージョン)」を上演します。

地域文化振興の取り組みとして16年続いてきたプロジェクトの一環である本公演ですが、今年、平成28年に上演した「創作狂言里見八犬伝」シリーズ第1弾「其ノ零(エピソードゼロ)」を“ウィズコロナ時代”ならではの演出で再演します。「勸善懲悪って何だ。」をテーマに、現代社会を風刺し、巧みな言葉遣いやユーモアあふれる動きで笑いを誘う、見どころ満載の作品となっています。つきましては、多くの方々にご覧頂きたく、ご案内いたします。

■創作狂言「里見八犬伝」について

本公演は、千葉にまつわる物語や伝承を狂言にし、伝統を繋いでいく「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～プロジェクト」(<http://www.cbs.or.jp/zaidan/kyogen/>)の一環です。平成17年に開始した本プロジェクトは、和泉流狂言師・小笠原由祠(小笠原匡より改名)を中心に、千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、公益財団法人千葉県文化振興財団、一般参加者の皆様が連携し、新たな狂言を創り上げてきました。

千葉大生は、普遍教育教養展開科目「伝統文化をつくる」において、狂言の舞台制作について学び、チラシ・ポスターやパンフレットの作成、小道具や衣装の制作、広報活動などを行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、例年行っている学生と県民が参加するワークショップを行わず、出演者は、プロの狂言師・俳優が中心となります。様々な制限がある中でも、学生たちは例年同様、精力的に授業に取り組んでおり、当日は舞台へは上がらないものの、声〔語り〕で出演します。

【公演情報】

12月5日(土) 14時開演

千葉県文化会館 大ホール

(〒266-8661 千葉市中央区市場町11番2号)

(※会場は、例年の小ホールではなく大ホールを使用し、十分に座席の距離を保っています)

【全席自由】一般 2,100円、学生 1,000円

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ

【授業に関すること】

千葉大学大学院人文科学研究院 柴(しば)・兼岡(かねおか)
(普遍教育科目「伝統文化をつくる」担当)
Eメール bosokyogen@gmail.com

【公演に関すること】

千葉県文化振興財団文化振興グループ 菅生(すごう)
TEL 043-222-0077 Eメール kikaku@cbs.or.jp



▲本番で使用する語りの録音風景



▲昨年の公演「里見八犬伝 其ノ参」